

# にわのあかり

## 光と闇を相楽しむ



### 秘める

foto by I Putu Nopiantra

都会には、秘められたあかりの伝説がある

開催日:2014年8月23日(土)から8月24日(日)

場所:神戸市立相楽園

入園料:大人(15歳以上)300円・小人(小・中学生)150円

開園時間

「にわのあかり」期間中は午前9時から午後9時まで開園

(ただし入園は午後8時30分まで)

\*通常は午前9時から午後5時(ただし入園は午後4時30分まで)

主催

にわのあかり2014実行委員会

構成(予定含む):

市民ボランティア,相楽園倶楽部,神戸山手大学,神戸市立雲雀丘中学校技術科,(株)萬盛スズキ,NPO法人ウィズアス,こうべ照明倶楽部,(有)アイティラボ,芳川紙業(株),アジア女性自立プロジェクト,コウベフォトサファリ/birdie photo gallery,スマイル防犯パトロール隊,こころ豊かなひとづくり500人委員会,神戸市立相楽園(指定管理者 神戸市造園協会・神戸市公園緑化協会グループ)

後援(予定)

神戸市,神戸市教育委員会,NHK神戸放送局,朝日放送,サンテレビ,神戸新聞社,インドネシア領事館,兵庫県,朝日新聞神戸総局,兵庫県立淡路景観園芸学校,兵庫県立大学大学院緑環境マネジメント研究科 他

アクセス

神戸市営地下鉄「県庁前」駅 北へ徒歩5分

JR・阪神「元町」駅 北西へ徒歩10分

\*駐車場はありません



# ジャワ影絵芝居 (ワヤンクリ) 8月23日,24日とも18:30より



foto by I Putu Nopiantra

## プログラム

23日 ジャティラン (民衆の舞、馬のダンス)、ワヤン・クリ「バレ・ゴロゴロ」第一夜

24日 ジャワ舞踊 (宮廷舞踊)、ワヤン・クリ「バレ・ゴロゴロ」第二夜

場所 芝生広場 雨天決行 (雨天時: 相楽園会館内)

演奏: ビンタンララス

ダラン (影絵人形遣い手): ローフィット・イブラヒム

ジャワ舞踊 (24日のみ): 西岡美緒、坂口裕美子

パフォーマンス (こえのあかり): 白井廣美、神澤道子



今年は電気ではなく  
椰子油のランプで影絵  
を照らします。

## 23日 (第一夜)

勇者ピモを含むパンダワ5兄弟に対し、  
100人兄弟のクロウォー族はますます憎悪をつのらせる。  
国を譲りたくないクロウォーは八百長賭博で無茶勝ちをし、  
負けたパンダワを国から追い出し、  
簡単には戻って来れないような無理難題をつきつけた (王家の  
身分を隠し、12年間誰にも気づかれずに暮らすことを要求)  
しかし13年後、パンダワは約束を果たし、国に戻ってくる。  
このままおとなしく国を譲るわけもなく、クロウォーはさらなる  
策略を練るのであった。

「パンダワを屋敷に招待し食事を振る舞い、油断させて、  
ふはははは！殺してしまえ！」

「森の中に、屋敷を作れ！床下には松脂やバターを塗りたくり、  
天井裏には乾いた糞を敷き詰める。

燃えて燃えて燃えまくる屋敷を作るのだ！」

そうこうしてクロウォーによる晩餐会・・・

その夜パンダワが目覚めると、目の前は火の海だった・・・。

## 24日 (第二夜)

燃え盛る屋敷から脱出したパンダワ。ピモは屋敷を

燃やした輩を見つけると、あっという間に葬って

しまった。パンダワは森をさまよっている。

ところ変わり、場面は地底、神の世界。

地底には大蛇の姿をした神オントボゴとその娘がいた。

娘は父に言う。

「私はピモのような強くて勇敢な男と結婚したい。」

娘の願いをかなえようと、蛇神オントボゴは地上へあがり、  
森のなかでピモを待つことにした。

再び場面は森の中。パンダワは命こそ助かったが、

今だ深い森の中にいる。そんな時森の向こうに洞窟を見つけた。

やっと休めるとパンダワが洞窟へ入るや否や、

その入り口がぐわんと閉じ、あたりは真っ暗闇に。

それは洞窟ではなかった、

それは、口を開けてピモを待ち構えていた大蛇オントボゴの  
巨大な体だった。

腹に閉じ込めたパンダワもろとも、地の底へともぐる蛇神  
オントボゴ。

さて、蛇神の娘とピモは結ばれるのか？！

そしてパンダワとクロウォーの決着やいかに。

## あかり (夕刻から)

ガムラン / インドネシア影絵芝居

こえの明かり

灯りのたくらみ

蛍の灯り

絆キャンドル

段ボールツリーのあかり

LEDのあかり

四阿のELあかり

池に浮遊するあかり

アジアのあかり

染めのあかり

更紗鏡・万華のあかり

朗読のあかり

癒しのあかり

青パトのあかり

フォト・あかり

ほしのあかり

ハッサム邸のあかり

